

ANDREW COLLIER

China Analyst & Expert on Chinese Financial Markets

LONDON
SPEAKER
BUREAU



アンドリュー・コリアーは、中国の政策とビジネス問題に関する第一人者です。国際銀行業務とジャーナリズムのキャリアを通じて、中国のマクロ経済、政治、産業に関する世界的に有名なコメンテーター、そして中国金融市場の著名なアナリストとしての地位を確立しました。

香港を拠点とするアンドリューは、GlobalSource Partners の中国担当アナリストです。チームとともに、シャドーバンキング、債券市場、金融状況、中国経済に影響を与える政治的要因を調査しています。また、企業の財務状況や評判を分析し、中国の消費者、産業、その他のセクターのチャンネル チェックも行っています。パブリック エクイティ ファンド、ファミリー オフィス、ヘッジ ファンド、プライベート エクイティ ファンドと緊密に連携しています。

アンドリュー・コリアー氏は、中国に関する独立した調査を行うオリエント・キャピタル・リサーチの創設者でもある。2006年から2011年まで、同氏は中国銀行の投資銀行子会社である中国銀行国際米国支店の社長を務めた。同氏はそこでBOCIの米国支店の立ち上げに尽力するとともに、中国の銀行業界の問題を調査し、中国の政府高官や公的および民間企業との関係を構築した。

彼は、ブティック投資銀行のニューヨーク・グローバル・セキュリティーズで中国のインターネット株を、また香港のCLSAでアジアの主要メディア企業を追跡することで、中国に関する分野別の専門知識を磨きました。彼は1997年にベア・スターンズでキャリアを開始し、同社のアジア全域のメディア報道を確立しました。

彼は中国の金融市場に関する 3 冊の本の著者でありCNBC Asia などの主要ネットワークに出演しています。サウス チャイナ モーニング ポストの北京支局の経済特派員を務め、ブルームバーグ ビジネス ニュースやシカゴのアメリカン メタル マーケットでも記事を書いています。

アンドリュー・コリアーは、エール大学で国際関係学と中国研究の修士号を取得し、北京大学で中国語を学びました。また、ワシントンのマンズフィールド財団のシニアフェローであり、カリフォルニア工科大学で中国のマクロ経済とシャドーバンキングに関する客員講師も務めています。アンドリュー・コリアーは中国語に堪能です。

Topics

- Asia
- Banking
- Economics
- Europe
- Finance